

開催日時 : 2023年8月25日(金) 8月26日(土)

開催場所 : 【分科会】 広島県内8分科会(8会場)

【全体会】 広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ) 〒730-0011 広島県広島市中区基町4-1

主催 : 公益社団法人日本PTA全国協議会 中国ブロックPTA協議会 広島県PTA連合会

後援 : 文部科学省 全国都道府県教育委員会連合会 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国公立学校教頭会

広島県 広島県教育委員会 県内23市町(広島市 安芸高田市 江田島市 大竹市 尾道市 呉市 庄原市 竹原市 廿日市市 東広島市 福山市 府中市 三原市 三次市 安芸太田町 大崎上島町 海田町 北広島町 熊野町 坂町 神石高原町 世羅町 府中町) 23市町教育委員会 広島県連合小学校長会 広島県公立中学校長会

一般社団法人全国高等学校PTA連合会 広島県高等学校PTA連合会 全国国立幼稚園・こども園PTA連絡協議会

全国国立大学附属学校PTA連合会 公益社団法人日本教育会 BP(いじめ防止支援)

プロジェクト構成大学(宮城教育大学・上越教育大学・鳴門教育大学・福岡教育大学)

全体スローガン: 変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を!

～見つけ 考え かわろうや ぶち楽しいで!!～ 広島から全国へ

メインテーマ: ① 家庭・学校・地域の連携を深めるPTA活動

② 学びの変革を推進するPTA活動

③ 学びを深めるPTA活動

④ 豊かな心を育むPTA活動

参加者 : 全国小・中学校PTA会員及び教育関係者 約7,000名

弊会参加者: 桑名会長、大竹直前会長、宮本副会長、二村副会長、高地副会長、田城総務委員長、小藤研修副委員長、山口



#### スケジュール

##### ■ 8月25日(金) 分科会(広島県内8会場)

【13:20~13:45】 開会

【13:45~16:50】 基調講演・実践発表・パネルディスカッション

【16:50~17:00】 閉会

##### ■ 8月26日(土) 全体会(広島県立総合体育館(広島グリーンアリーナ))

【9:00~9:30】 アトラクション

【9:30~10:35】 開会行事

【10:35~11:55】 記念講演

講師: 黒川 伊保子氏

株式会社感性リサーチ 代表取締役

人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家

日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員

演題: 心のトリセツ

～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～

【11:55~12:20】 閉会行事 大会宣言

#### ▼第1分科会 大日向 雅美氏 恵泉女学園大学

子供の力を引き出す家庭教育のあり方～自己肯定感を高め、可能性にチャレンジする子供を育てるために～

激動の時代を生き抜く子供たちを育てるために、今、家庭教育の重要性が改めて指摘されています。自己肯定感を高め、何事にも積極的にチャレンジし、自らの道を自力で切り開いていく子供をどう育てていくか、そのために、どのように家庭教育を進めていけばいいのかについて、学べる分科会となりました。

#### ▼第2分科会 小熊 広宣氏 NPO法人全国不登校新聞社事務局長

すべての子供たちの豊かな学びを実現するために～様々な要因から学校に適應できない子供たちへの対応～

《所感》小藤研修副委員長

東広島で行われた第2分科会に出席いたしました。研究課題は“すべての子供たちも豊かな学びを実現するために”で開催されました。基調講演ではNPO全国不登校新聞社事務局長の小熊氏に、不登校の子供の気持ちはどのようなものか? 親など周囲の大人にで

きることはなにか？を中心に、講演頂きました。子供たちは様々な理由で学校に行けなくなり、多様な学びの場をもとめている子供たちが数多く存在している現状に正直驚きました。ただ単純に子供に寄添うと言ってしまうことはできても、子供たちの抱えている問題により対応の難しさを実感いたしました。

実践発表では、SSR（スペシャル・サポート・ルーム）を開設している学校の教師の方から、不登校傾向の生徒への支援、不登校未然防止の取り組みについて、学校で行っている事例と今後の展望を発表されました。子供が安心して学校に通えるよういろいろな工夫をして、子供たちが楽しく生き生きと通える学校づくりをしていることを学びました。子供の不登校は何時、何が原因で起こるかは多種多様な為、そばにいる親・大人は子供の些細な心の声にも耳を傾ける必要性を実感した分科会となりました。

#### ▼第3分科会 山川 尚美氏 広島修道大学教授

学校教育と地域の連携をどう進めていくか～子供の成長を地域と共に～

《所感》田城総務委員長

「学ぶ」と「地域」が好循環することによって、子どもたちがより豊かに育ち

また、学校がより機能することによって、持続可能な地域となるなど生涯学習理論と各地域での実践事例を学ぶ事によって、改めてPTAとしての役割が子どもたちだけでなく日本の未来につながる活動であることを考える素晴らしい機会となった。

#### ▼第4分科会 石川 結貴氏 ジャーナリスト

子供のかげがえのない命と尊厳を守る～幸せに育つ子供の未来のために～

《所感》大竹直前会長

2021年度、児童相談所が対応に当たった児童虐待件数は207,660件と過去最多の件数となっている。

第4分科会では、児童虐待によってまともな教育を受けられず、就労できないことによって貧困に陥り、自分の子どもにも虐待をしてしまう連鎖が起きている事例について説明があり、この虐待の連鎖をいかに断ち切るかが、困っている子どもたちを救うことに繋がることを話し合った。

困っている子どもは、一見何処にいるのかわからないものであるため、困っている子供だけでなく全ての子どもに私たちから感謝の気持ちを伝えることで、子どもたちに自己肯定感や自己承認の気持ちが芽生え救うことができると学んだ。

また、虐待を受けている子どものシグナルや虐待をしている大人へのアプローチなどをパネリストの方々からご教授いただき、参加者全員で共有することができた。

#### ▼第5分科会 道佛 一郎氏 株式会社インフレックス

P T Aの活性化を図る効果的な広報活動の在り方～思いや考えを的確に、効果的に伝えるために～

広報（P R）の語源は「多くの人々と関係をつくる」ということです。P T A組織としての活動を会員や社会に正しく認識してもらい、信頼関係を築くことが大切です。また、多くの会員の考えや社会の動きなどを正しく受け止め発信する双方向コミュニケーションの役割も担っています。この目的を効果的に達成するため、どのような方法や手段があるのか、実際の取組を参考にしながら学ぶことが出来る分科会となりました。

#### ▼第6分科会 あんどう りす氏 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科博士課程 アウトドア防災ガイド

予期せぬ災害から大切な命を守るために～今、できること・考えておくべきこと～

《所感》宮本副会長

予期せぬ災害から大切な命を守るために～今、できること・考えておくべきこと～としてあんどうりす氏のアウトドアでの活動を通して命を守ることを楽しく学べることを紹介してもらい、また国が作成した動画等の活用方法も教えてもらいました。

実践発表では西日本豪雨災害時の経験から学んだことを語っていただき、その後のパネルディスカッションでいざという時にP T A組織としてできること等の討議が行われました。

#### ▼特別第1分科会 村岡 啓道氏 独立行政法人国際協力機構中国センター所長

世界で活躍する人材を育むために～これからの国際化に対応できる力とは～

《所感》二村副会長

基調講演の中で、これからの社会を生き抜くために、必要なのは「知る力」「聞く力」「提案する力」「実行する力」を身につけることで、「やってみなければわからない」という気持ちで積極的に取り組んでいくことが重要だということをご講演いただきました。続いての実践発表では、教科書的な知識に頼ることなく、自ら考え、学び、解決する力が必要で、何でも楽しみながら学んだことは最も定着し、最も応用が利く。国際社会では自らのアイデンティティを持つものが評価される、ということを実践発表で交えながら発表されました。最後パネルディスカッションでは、まずは文化を知り、自分で感じどうやってやろうか方向性をもち行動することが重要で、人間性をどうやって育むのが究極の目標であるということ。また、英語はツールであり、自分のアイデンティティを理解し発信できるかが、世界で活躍する人材に繋がっていくという討議で幕を閉じました。

#### ▼特別第2分科会 塩田 真吾氏 国立大学法人静岡大学教育学部学校教育講座准教授

教育の情報化の推進～これからの情報化社会に生きる子供たちに必要なもの～

《所感》高地副会長

最初に基調講演として静岡大学教育学部 准教授塩田真吾先生からご講演いただきました。

これからの子どもたちに必要なのは「情報活用能力」であり、それは、情報を上手に活用する力と情報のリスクに対応する力、両方が育まれなければならない、という内容でした。また、実際の研究実践事例から①様々なトラブルへの自覚を促す②リスクをグラデーションで考えさせる③時間管理に関する「自律の力」を育む、ことが必要であると、お話いただきました。

デジタルネイティブ時代の子どもたちの現状を知り、親としてどの様に関わっていくことが必要なのか、改めて考え直す貴重な時間となり、後半のディスカッションも様々な立場からのご意見に納得することばかりでした。

#### ▼全体会記念講演 黒川 伊保子氏

株式会社感性リサーチ代表取締役 人工知能研究者 感性アナリスト 随筆家 日本ネーミング協会理事 日本文藝家協会会員

心のトリセツ～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～

急激な変化が予想されるこれからの社会情勢を乗り切るために、保護者も子供も新たな学び、「学びの変革」が必要という問題に脳科学の立場から講演していただきました。特に生活の中での様々な問題の解決方法として物事を客観視するだけではなく、脳科学的な事象としてクールに分析しアプローチする手法はとても面白く、まさにAI時代に必要とされる新しいスキルの1つではないかと思いました。新しい時代を生きる子供たちの育成に大きなヒントを与えていただきました。

#### 《全体所感》

日本PTA全国大会への参加は素晴らしい経験でした。多様なプログラムが用意され、特に実際の成功プロジェクトの紹介は非常に興味深かったです。組織・運営は非常に丁寧で、会場の案内やセッションの進行がスムーズでした。スタッフの方々のサポートも感謝しています。参加者同士の交流も活発で、懇親会や交流イベントでは有益な情報を共有し、楽しい時間を過ごしているように感じました。地域社会との連携強化や学校支援の視点で新たな展望が開けたと感じましたので、今後も積極的に参加していきたいと思っています。